

# JACDS ダイレクトニュース

発行: 日本チェーンドラッグストア協会 広報担当

## 米国・ドラッグストア PCR 検査に本格稼働

5月8日付「日経 MJ」に米国のドラッグストアが新型コロナウイルスの PCR 検査を本格的にスタートすることが報じられていました。米国では 2009 年に全米 50 州で、ドラッグストアなどによるインフルエンザワクチン接種が解禁になっています。今ではインフルエンザに限らず種々のワクチン接種はドラッグストアが最もポピュラーな場所になっています。日本とは国情が大きく異なりますが、新聞紙上から一部抜粋して紹介します。

### ■CVS 5月中に全米1000店舗で PCR 検査開始

- ・米国ドラッグストアチェーン大手の CVS ヘルスケアは新型コロナの PCR 検査を全米で最大 1000 店舗まで拡大する。店舗に併設する駐車場にテントを設置して実施する。同社はすでにコネティカット、ジョージア州など 5 州で開始している。検査が 1000 店舗で稼働すれば、毎月 150 万件の検査が可能になる。
- ・ウォルグリーンも全米 49 州とプエルトルコで実施する。店舗数は不明だが、毎週 5 万件は可能としている。すでに 11 州 18 カ所の店舗でドライブスルー型の検査を実施している。
- ・ライト・エイド、ウォルマートなども、相次ぎ検査場新設計画を発表している。

米国では 1994 年、ワシントン州を皮切りに、ドラッグストアなどに勤務する薬剤師によるインフルエンザの予防接種がスタートしました。その 15 年後には全米にまで拡大し、インフルエンザに限らず、様々な予防接種がドラッグストアで日常的に実施されています。

今回の新型コロナの PCR 検査は、今年3月、トランプ大統領が大手小売りチェーンに PCR 検査の協力を要請し、それに大手のドラッグストアチェーンが名乗りを上げたという経緯のようです。米国では自宅で唾液摂取して、大学の研究機関などに送付して検査する方法も緊急的な措置として認可されているようですが、日米の違いを感じさせます。

新型コロナワクチンが市場に投入されれば、全米のドラッグストアで同ワクチン接種がいち早く開始されるものと思われます。

米国と日本では国情が異なりますが、日本でも新型コロナの抗原・抗体検査キットが販売可能になれば、ドラッグストアの役割も大きく拡大するものと期待されます。一部報道によると、この抗原・抗体検査キットは入国者検査や事業所・学校などでの使用も想定されているようです。地域で最も身近なドラッグストアでも、許認可等の進捗状況をみながら、その取り扱いについて準備が必要かと思われます。

(文責:横田)

**日本チェーンドラッグストア協会 事務局**〒222-0033 神奈川県横浜市港北区新横浜2-5-10 楓第2ビル4階  
TEL. 045-474-1311 FAX. 045-474-2569